



「読み聞かせ」にはどんな効果があるの？

「あじさいの会」「れんげ草の会」「そよ風」「ひらけごま」「ポケット」…美しい風景やメルヘンの世界を連想させるこれらは、読み聞かせボランティアグループの名前です。

秋田県内には、101の読書活動支援団体があります（平成23年度「秋田県の生涯学習・文化財保護一施策の概要」より）。中でも読み聞かせボランティアグループは、あるときは市町村図書館で、またあるときは小・中学校、幼稚園・保育所、児童館、老人福祉施設で定期的に活動しています。

ところで、この読み聞かせは、子どもたちにどんな効果をもたらすのでしょうか。一般に次のようなことが言われています。

- 子どもが本好きになる
- 言葉をたくさん覚える
- 早く一人で本を読めるようになる
- 疑似体験により感性が養われる
- 心に響く本によって生きる力を得る

このように、読書力を身に付け本から学ぶことができるだけでなく、

- 集中力が身に付く
- 思いやりの心が育つ
- 我慢することを覚える
- 落ち着いて行動ができる
- 読んでくれた人と良好な関係が築ける

という効果があるとも言われています。



これらの効果に異を唱える説もあるかと思いますが、大人が愛情込めて子どものために本を読み聞かせることは、子どもの成長を助けることになるはずで、学校での読み聞かせをきっかけに、読書に興味をもつ子どもが増えているとの報告もあります。

さらに、家庭で行う読み聞かせは、家族の絆を強めます。忙しい生活の中に、この貴重な時間を見つけてみませんか。

活動紹介

「子ども読書夢プラン事業」のサポーターは、図書館の蔵書管理や図書整理、貸出支援を行っているだけではありません。専門知識や技能を生かしてこんな活動もしています。

【授業】

- ◎ 「まち探検」や「図書館へ行こう」という題材で図書館を訪問する子どもたちに、担任の先生に代わって、図書館の使い方や本の選び方を教えています。
- ◎ 国語の授業でCD教材に代わって朗読したり、調べ学習の支援をしたりしています。
- ◎ 授業で使いたい図書を学校図書館から探すだけでなく、市町村図書館、近隣の図書館、県立図書館から団体貸出を受けて準備しています。

【放課後】

- ◎ PTA ボランティアや図書委員に図書修繕の仕方の講習会を行っています。
- ◎ 学校だけでなく、幼稚園・保育所、児童館、保健センターでも、読み聞かせやおはなし会を行っています。

子どもが本を手に取りたくなる ブックトーク演習

「子ども読書夢プラン事業」第2回研修会 with 読書活動ボランティア

夢プランのサポーターは、「読み聞かせ」のスキルアップと、読書活動ボランティアの方々とのつながりを築くために、初めて合同で研修会を行いました。6月28日三種町、29日横手市、30日秋田市を会場に、延べ114名が参加しました。

今回の研修では、ブックトークの仕方を学びました。本を始めから終わりまで全部読む「読み聞かせ」とは異なり、ブックトークは一つのテーマに沿って、数冊の本を順序よく紹介することで、子どもを読書に誘います。



支援センター支援員)の演示でブックトークの醍醐味を体験した受講者たちは、早速グループに分かれてブックトークのシナリオづくりに悪戦苦闘。それぞれが持ち寄った「おばけ」「夏」「食べ物」の絵本のテーマを決めると、順序、紹介の仕方、つなぎ方を考えます。「同じ紹介

の仕方は、だめ。」「はじめは…次は…とつなげてはいけませんよ。」「40分後発表会。」と、講師からは容赦なく注文が出されます。

でも、さすがは「読み聞かせ」の熟練者たち。どのグループも、『夏を涼しく』『夏のおいしい食べ物』等のテーマでの見事な発表を行い、拍手喝采を浴びました。



とができるように、その場に置いてくるのがポイントです。

後日、夢プランのサポーターから、「さっそく訪問学校でやってみたら、子どもたちが大喜びでした。」とのうれしい報告がありました。

子どもたちに読書の楽しみを伝えるためには、「ブックトーク」にしる「読み聞かせ」にしる、演じる大人が、まず、楽しいと感じることが一番大事なのかもしれません。

暑い夏こそ図書館へ出かけませんか！

節電の夏にもかかわらず、猛暑が続いています。こんなときこそ図書館でゆったりとした時間を過ごしてみませんか？

大きな図書館でお目当ての本をじっくり読むもよし、検索機能を使って新しいジャンルの本や気になっていた本に出会うもよし。また、時節によって変わるテーマ展示は魅力ある情報が満載です。複合施設に入っている市町村図書館も多いので、イベントやレジャーのついでにふらりと寄ってみるのもいいかもしれません。コーヒーサービスがあったり児童館を併設したりしているところもあるので、新たな図書館の楽しみ方を見つけてはどうでしょうか。



「子ども読書夢プラン事業」が最終年度となり、各市町村では、整備されてきた学校図書館を今後も維持していくために、読書活動ボランティアとの連携を深めたり、図書支援員を育成したりする活動を始めています。また、「子ども読書活動推進計画」の策定にも取り組んでいます。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班

URL

<http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

